

民主党代表

野田 佳彦 様

消費税関連法案の反対議員に対する「厳正な対応」についての意見

野田代表は記者会見で、今回の法案の反対議員に対する「厳正な対応」をするという発言をされました。私は2009年当選以来、国民の皆様とお約束したことを、忠実に実現するために死にものぐるいで仕事をして参りました。総理の「厳正な対応」というのが、党内の処分のことを指すのかどうかわかりませんが、私は国民の皆様との約束を守ることを優先した結果、反対票を投ずるに到りました。厚生労働委員の立場から見てもこの法案は民主党の理念が消え去り、社会保障が骨抜きになった、単なる自・公・民の談合による大增税法案です。

そして、事前の臨時代議士会では、党議拘束がかかるか否か、また処分があるか否か、そういったことは明確ではなかったことと承知しております。以上の理由から、すでに離党届を出した身とはいえ、私はいかなる処分も断固として拒否致します。又、党に残る仲間の議員も処分をすべきではないと考えます。

野田代表の決断とは異なる行動となりましたことは残念です。

しかし、国民の皆様との約束には「造反」をしておりません。

新しい立場で「国民の生活が第一」のため頑張っ参ります。

平成24年7月3日

衆議院議員 三宅雪子